

PIAA

LED フォグランブキット取扱説明書

この度はPIAA 製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
正しくお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読みください。
この取扱説明書はなくさないよう、大事に保管しておいてください。

品番	MLB01
適用車種	YAMAHA BOLT (型式: EBL-VN04J)
標準作業時間	約 1.5 時間

※この本文中の **△注意** マークと **△警告** マークは、取り付け上に関する重要な注意事項です。
安全かつ確実に作業して頂く為、必ず厳守してください。

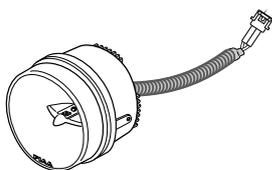
お客様へお願い ……この取扱説明書とご購入時のレシートは、大切に保管しておいてください。
この商品を貸したり譲ったりする場合は、必ずこの取扱説明書を含めてお渡しください。

取付店様へお願い ……この取扱説明書は、取り付け後必ずお客様へお渡しください。

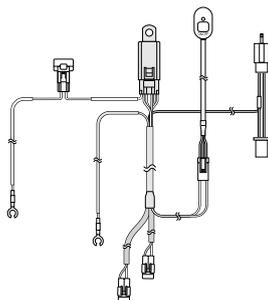
内容品

※ 梱包品が全部揃っている事を確認してください。
足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

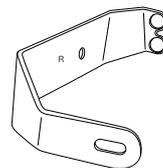
① LED ランプ 【2 セット】



② リレーハーネス 【1 セット】



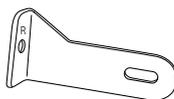
③ ステア R 【1 個】



④ ステア L 【1 個】



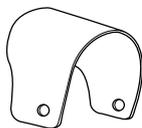
⑤ サブステア R 【1 個】



⑥ サブステア L 【1 個】



⑦ ランプガード 【2 個】



⑧ スイッチブラケット 【1 個】



⑨ スクリュー 【1 本】



⑩ 両面テープ 【1 枚】



⑪ 十字穴付六角ボルト (M5,L=10mm) 【2 本】



⑫ 十字穴付六角ボルト (M5,L=15mm) 【4 本】



⑬ 六角穴付ボルト (M10,L=30mm) 【4 本】



⑭ カラー 【4 個】



⑮ タイラップ 【10 本】



使用工具

車両部品の取り外し、取り付けに必要な工具に関しましては、車両のサービスマニュアルを参照してご用意ください。又、本製品の取り付けには、上記工具の他に、絶縁用のビニールテープが必要となりますので別途ご用意ください。



使用上のご注意 / 安全にお使い頂く為に必ずお読みください。

⚠警告

- 点灯中及び消灯直後のランプは大変高温になっていますので、手を触れないでください。火傷を負う恐れがあります。又、点灯中及び消灯直後には、洗車等で故意に冷水をかけないでください。レンズ割れ等、機能を損なう恐れがあります。
- 点灯中のランプは大変高温になりますので、枯れ草や可燃物の側で駐停車した時は点灯しないでください。火災の原因となる事があります。
- 点灯中のランプを間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となる事があります。

⚠注意

- このランプは雨、雪等の降る夜間時、夕暮れ時、霧の出ている時等の視界が悪い場合に使用してください。 unnecessary point lighting is prohibited.
- スイッチの操作は、走行中に絶対行なわないでください。
- エンジンがかかっていない時点灯させておくとバッテリーが上がり、エンジンがかからなくなる事がありますので、ご注意ください。
- ランプの取り付け部は、走行前に点検し、異常を発見した場合は取り付け直してください。
- ランプ取り付けスクリュー類は、走行前にゆるみの有無を確認し、増し締めしてください。又、ブラケットの取り付けボルトも確認してください。走行中ブレが発生した場合は、直ちにランプ及びブラケット等の取り付け部を点検、増し締めしてください。
- 車体によっては、エンジン始動時に高電圧が発生します。ランプ及び、ハーネス保護の為、始動直後の点灯及び、点灯状態でのエンジン始動は避けてください。
- 故障の原因となりますので、ランプ及びハーネスを分解しないでください。
- ランプ及び、ハーネスを外して保管する場合は、汚れを拭き取り、水気のない所に保管してください。
- ランプにレンズ割れその他破損が認められた時は、ランプの交換をしてください。又、コード被覆の損傷等異常が認められた場合は、ハーネスを交換してください。
- 破損したレンズ及び、ハーネス等の取扱いはケガをしないよう充分留意し、不燃物として廃棄してください。

取り付け上のご注意 / 必ずお読みください。

⚠注意

- このランプは、**PIAA** のロゴが正立するように、ブラケットを組みご使用ください。
- ランプ機能を最大限に発揮させる為、必ず**PIAA** 製専用ハーネスをご使用ください。
- 作業は、平らな場所で十分なスペースと安全を確保して行なってください。又、車両は、ギアをニュートラルにし、エンジンを停止させておいてください。
- 作業は、エンジンが充分冷えてから行なってください。
特にエンジン本体、マフラー、オイルクーラー等、高温部が熱い内には作業しないでください。
- ランプ本体及び、ランプハーネスのお取り扱いには充分ご注意ください。
落としたり、物を当てたりして衝撃が加わるとレンズ及び、ランプハーネスの損傷につながります。
- ランプボディ等には穴あけ加工はしないでください。又、ランプ各部に接着剤やシール剤等を塗布しないでください。
- ランプハーネスの改造はしないでください。過熱やショートの原因となる他、最悪は車両火災の恐れがあります。
改造による不具合については一切責任を負いかねます。
- バッテリー端子の脱着の際は、⊕端子と⊖端子に同時に触れないでください。感電の恐れがあります。
ゴム手袋等を着用し防護処置をしてください。
- バッテリーの⊕端子と⊖端子に、金属が同時に触れないよう充分ご注意ください。ショートを起こすと大変危険です。
- ボルト類は確実に締め付け、試験走行を行ない、ゆるみが出た場合は、増し締めを行なってください。
- ランプ取り付け後、ランプの照射光線の調整をしてください。(P11の光軸調整方法をご参照ください。)
- 取り付け終了後、ヘッドランプ等の灯火類やホーン等が正常に作動するか確認してください。
- バッテリー端子を取り外すと、純正用品のメモリーが消えますので、作業終了後元通り直してください。
(修正方法は車両の取扱説明書等をご参照ください。)

配線上のご注意 / 必ずお読みください。

⚠警告

- 配線の際は、下記注意事項を厳守してください。誤った配線や不確実な配線は、ランプの機能を損なう他、最悪は車両火災を起こす恐れがあります。

⚠注意

- 必ずバッテリー⊕端子及び⊖端子を外してから作業してください。
バッテリー端子は必ず⊖端子から外し、ショートさせないよう充分ご注意ください。
- バッテリー端子を脱着する場合は、必ず車両のキーを OFF にして抜き、電装品のスイッチを OFF にしておいてください。
- バッテリー端子脱着の際、他の電装品コードを接続している場合は、⊕と⊖を間違わないようビニールテープ等で束ねて区別しておいてください。
- ⊕電源コード(白線)と⊖アースコード(黒線)は色をご確認の上、確実に接続してください。
- ⊕電源はオルタネーター(発電器)からとらないでください。
- リレーボックス及び、ヒューズボックスは、直接水のかかる部分には設置しないでください。
- エンジン等の高温部に、ハーネスが触れないよう配線してください。
- ハーネスは可動部等に噛み込まれないように配線してください。
- ブレーキ配管等の高圧配管にはリレーハーネスを固定しないでください。
- ハーネスがエッジ部に当たる時は、市販のクッションテープ等でハーネスを保護してください。
- コネクターを接続する場合は、カチッと音がするまで確実に差し込み、固定してください。
- コネクターを抜く場合は、コネクター本体を持ってロックを解除してから抜いてください。
コードを引っ張ると、接続部が損傷し、過熱等が発生して危険です。
- リレーハーネスはたるまないよう、タイラップ又はビニールテープで束ねて車体配線等に固定してください。
- バッテリーを接続する前に再度配線の確認を行なってください。
- バッテリー端子及び電装品コード接続の際は、⊕と⊖を絶対に間違わないよう充分にご確認の上、必ず⊕端子から取り付けてください。
- 配線完了後、作動を確認してください。点灯しない場合は、後述の P12 『【3】こんな時には……』をお読みください。

[1] LED ランプ取付概略図

本概略図は取り付け作業の手順を要約して説明したものです。各作業の詳細につきましては、各項目に案内されているページをご参照ください。

2 バッテリー⊕端子を取り外してください。(P5. (2) をご参照ください。)

1 バッテリー⊖端子を取り外してください。(P5. (2) をご参照ください。)

7 ⊕電源コード (白線) をバッテリー⊕端子と共締めで、バッテリーに接続してください。(P10. (22) をご参照ください。)

8 ⊖コード (黒線) をバッテリー⊖端子に共締めしてください。(P10. (22) をご参照ください。)

6 車体側のフラッシャーリレーのコネクターを外して割り込ませて接続してください。(P10. (21) をご参照ください。)

4 ハーネスが必ず下側に向くように固定してください。(P8. (16) をご参照ください。)

3 車両にスイッチブラケット (部品⑧) を取り付け、スイッチを両面テープ (部品⑩) にて取り付けてください。(P7. (11) (12) P8. (13) をご参照ください。)

5 リレーハーネスとLEDランプのコネクターを、それぞれ接続してください。(P9. (19) (20) をご参照ください。)

9 タイラップ
ハーネス

ランプ取り付け完了後、リレーハーネス各部がエンジン可動部や、高熱となる部分に触れないよう、添付品のタイラップ (部品⑮) で固定してください。

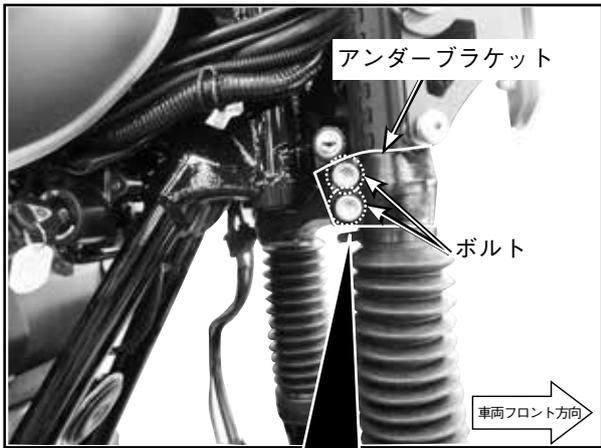
【2】 LED ランプの取り付け



(1) 車体の点線部のシート及び、外装を取り外して、ガソリタンクを浮かせられる状態にしてください。

※取り外し方は、サービスマニュアルをご参照ください。

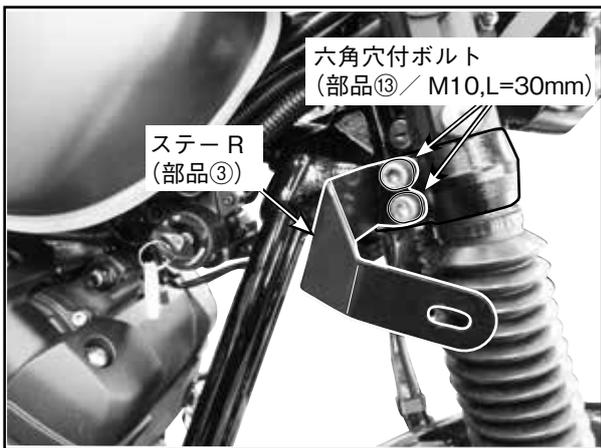
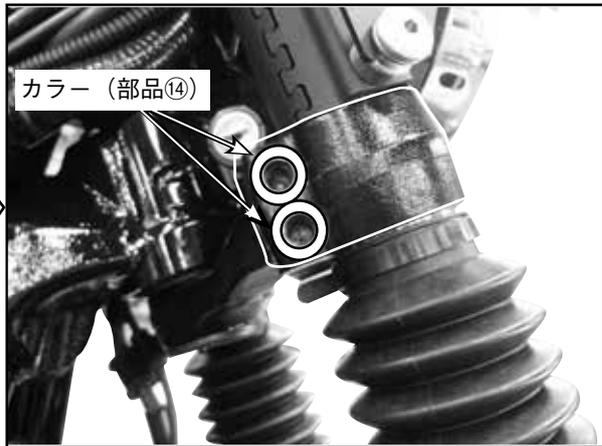
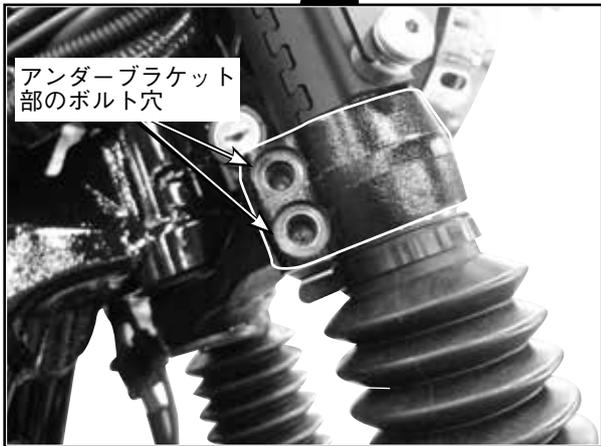
(2) バッテリー端子の⊕⊖を外してください。



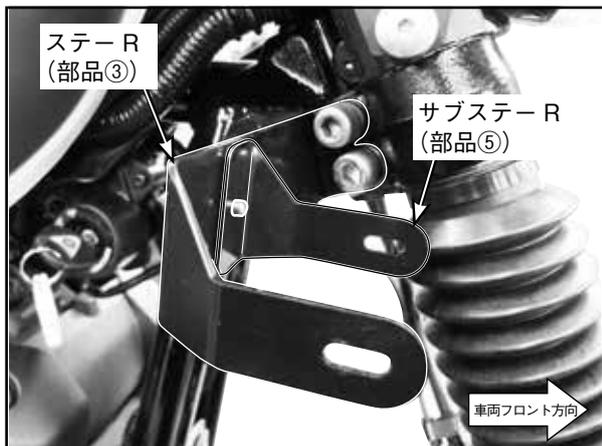
(3) 写真の位置にあるアンダーブラケット部の車体ボルトを取り外してください。

※取り外した車体ボルトは使用しませんので無くさないよう保管してください。

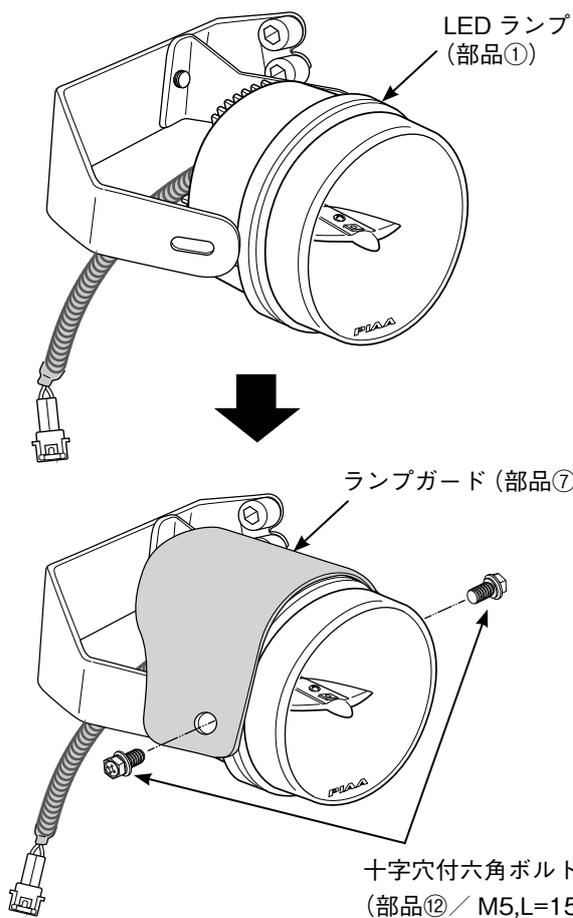
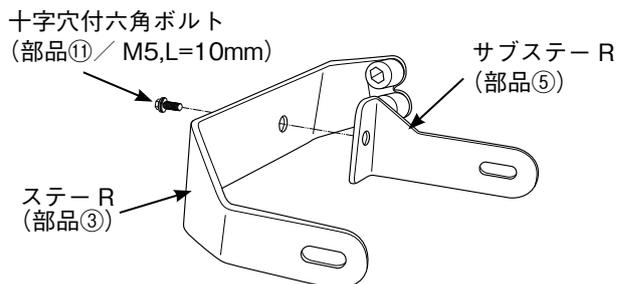
(4) (3) で取り外した車体ボルトの穴に、カラー (部品⑭) を取り付けてください。



(5) カラー (部品⑭) を取り付けけた穴に、ステー R (部品③) を六角穴付ボルト (部品⑬ / M10, L=30mm) にて取り付けてください。



(6) ステアー R (部品③) にサブステアー R (部品⑤) を十字穴付六角ボルト (部品⑪ / M5,L=10mm) にて図のように取り付けてください。



(7) 組み付けたステアー R (部品③ / ⑤) に LED ランプ (部品①) とランプガード (部品⑦) を十字穴付六角ボルト (部品⑫ / M5,L=15mm) にて仮取り付けしてください。

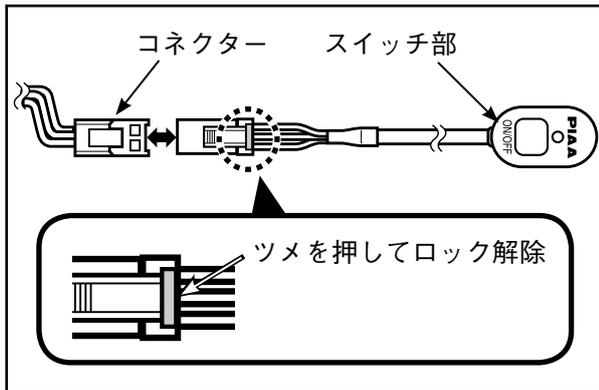
※十字穴付六角ボルトは後述の光軸調整後に本締めします。

△注意

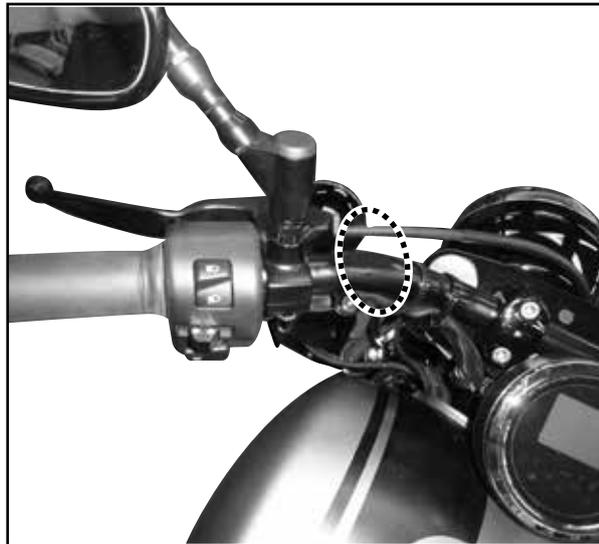
● ランプを取り付け状態にした時、レンズの **PIAA** のロゴが逆さまにならないよう、ご注意ください。



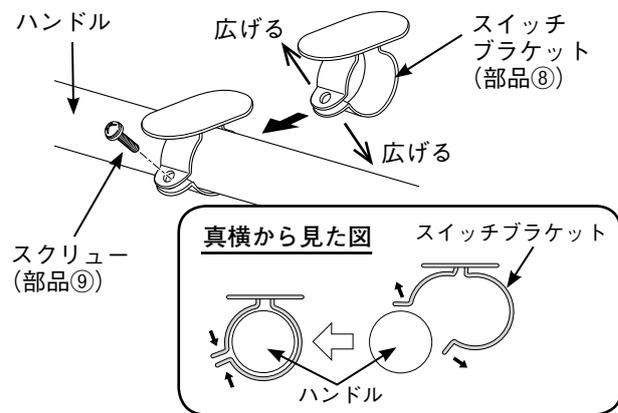
(8) 反対側のランプも同様に仮取り付けしてください。



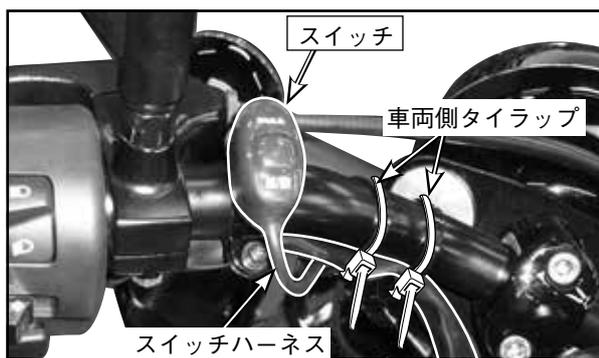
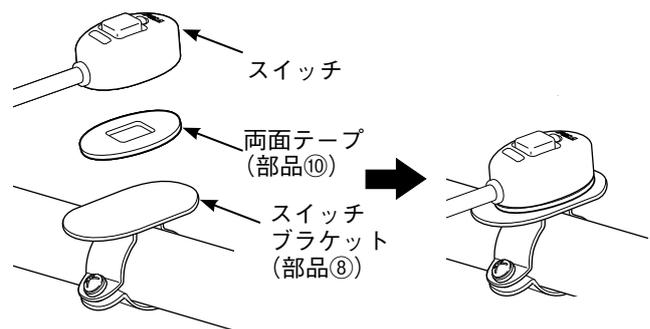
(9) リレーハーネス (部品②) のスイッチ部のコネクターを左記のイラストを参考に取り外してください。



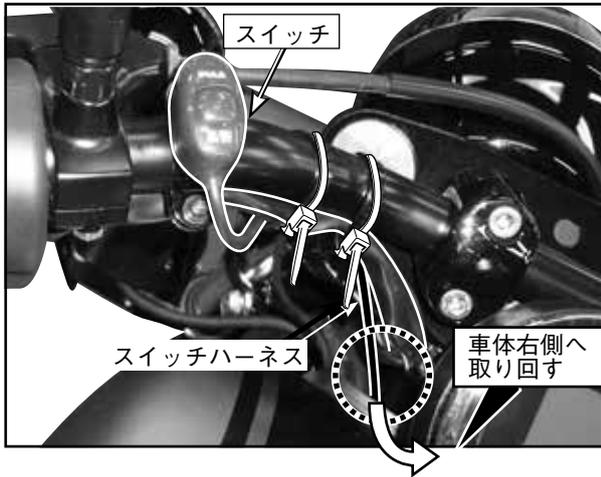
(10) スイッチブラケット (部品⑧) を広げてからスクリュー (部品⑨) にて、ハンドル左側の写真の点線の位置に仮止めしてください。



(11) (9) で取り外したリレーハーネスのスイッチ部を、スイッチブラケット (部品⑧) に、両面テープ (部品⑩) にて取り付けた後、スイッチ操作を行ない易い位置に調整して、(10) で仮止めたスクリューを締め込んでください。

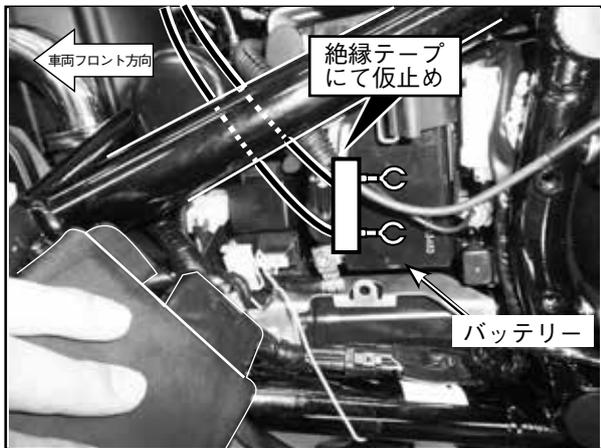
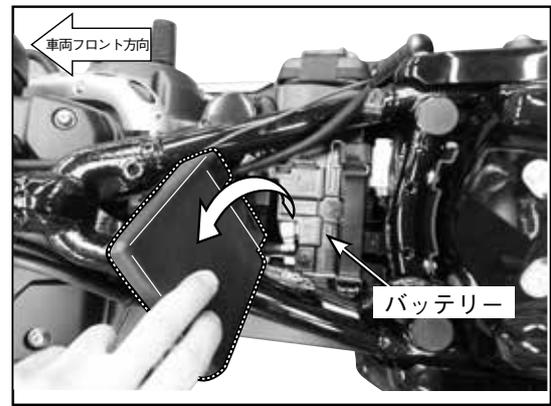
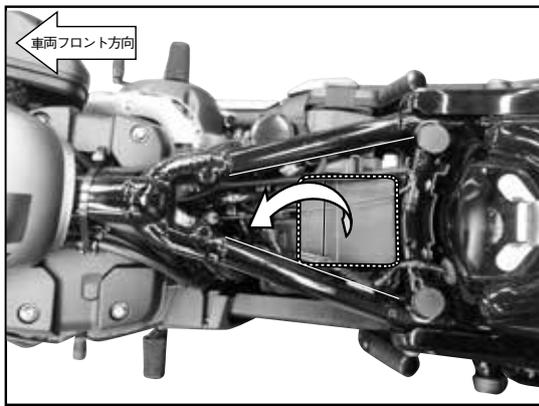


(12) ハンドルの車両ハーネスを固定しているタイラップを外して、スイッチハーネスを車両側ハーネスに沿わせて、外したタイラップで仮固定してください。

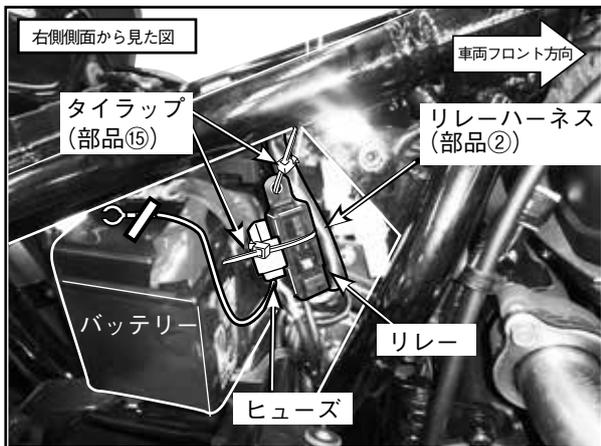


(13) スイッチハーネスを車両ハーネスに沿って写真の位置の隙間から下方向へ通してから車体の右側へ取り回してください。

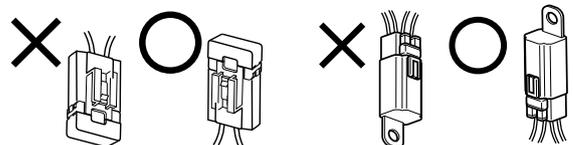
(14) シート下の点線のユニット部を矢印の方向に持ち上げて、バッテリーのカバーを取り外してください。



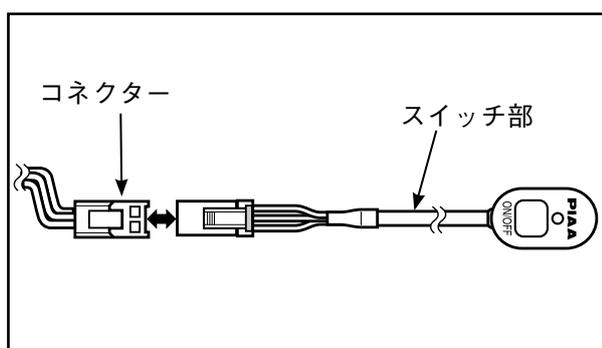
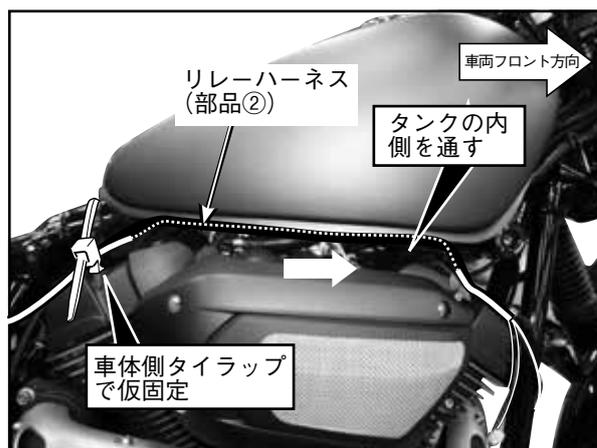
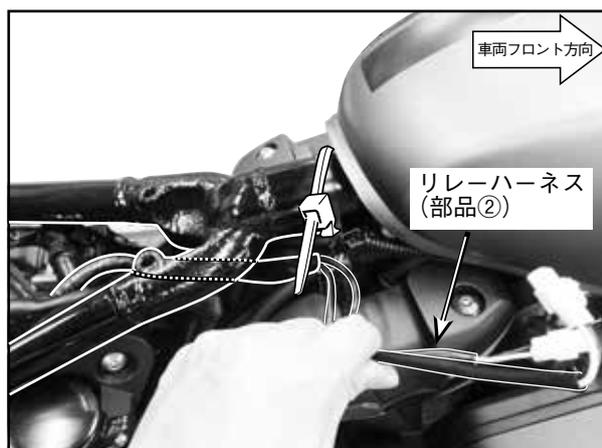
(15) 写真のように、リレーハーネス (部品②) のクワ型端子を、バッテリーに絶縁テープで仮止めしてください。その際、クワ型端子がバッテリーの⊕、⊖端子部に触れないようご注意ください。



(16) リレーハーネス (部品②) のリレーを写真の位置でハーネスに固定して、リレーとヒューズをまとめて、タイラップ (部品⑮) にて仮固定してください。リレーとヒューズは、ハーネスを下側に向けて取り付けてください。



- (17) リレーハーネス (部品②) を、写真のように車体側ハーネスにそってフロント部へ取り回してください。



- (18) (13) で上から通してきたスイッチハーネスのコネクタを (9) で外したリレーハーネス (部品②) とフロントフォークの内側で接続してください。

⚠注意

- ハンドルを左右に切った際に、ハーネスが突っ張ったり、車体と干渉しないように取り付けてください。



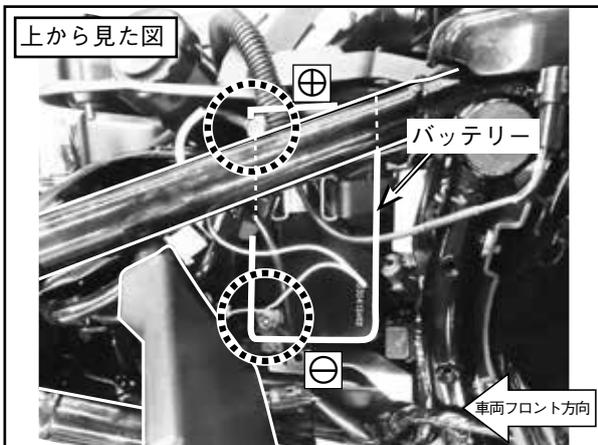
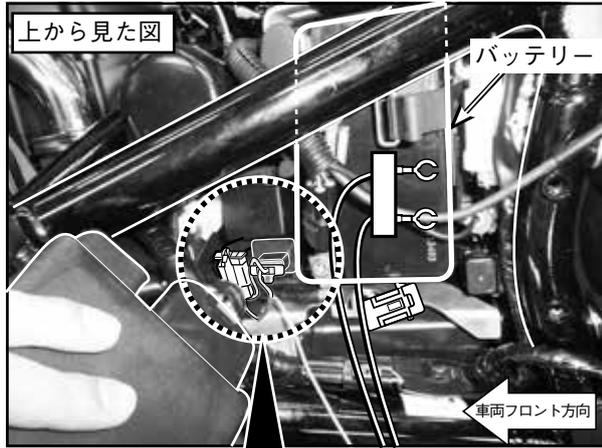
- (19) 左側の LED ランプ (部品①) のハーネスを写真のように取り回して、車体の右側へ通し、リレーハーネス (部品②) のランプ接続コネクタ (長) と接続してください。写真の位置で車体側ハーネスとタイラップ (部品⑮) にて仮固定してください。

⚠注意

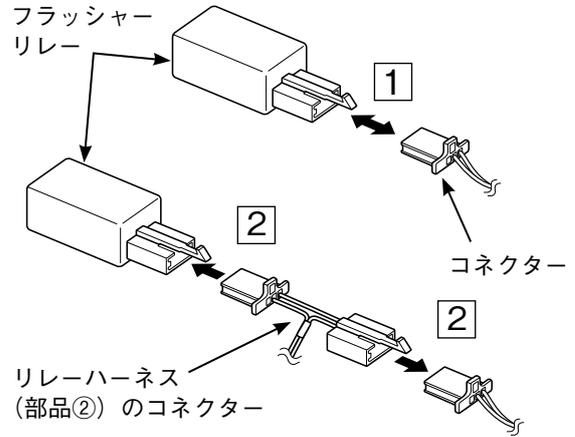
- リレーハーネスは、この後の作業で位置を微調整する場合がありますので、本作業ではタイラップを強く締めないでください。



- (20) 右側の LED ランプ (部品①) のコネクタと、リレーハーネス (部品②) のランプ接続コネクタ (短) を、ガソリタンクの内側で接続してください。
(18) で接続したスイッチハーネスと、左右のランプハーネスの 3 本を合わせて、タイラップ (部品⑮) にて車体ハーネスに仮固定してください。



- (21) ① 車体側のフラッシャーリレーからコネクタを取り外してください。
- ② リレーハーネス (部品②) のコネクタを割り込ませて接続してください。



- (22) リレーハーネス (部品②) の⊕電源コード (白) と車体側の⊕端子をバッテリーの⊕側に接続してください。
- リレーハーネス (部品②) の⊖電源コード (黒) と車体側の⊖端子をバッテリーの⊖側に接続してください。

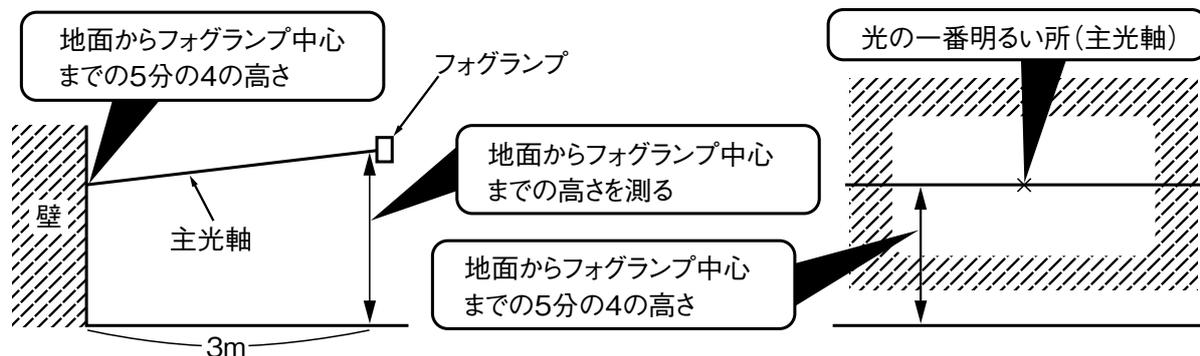
- (23) 点灯確認を行なってください。
- (24) リレーハーネス (部品②) の取り回しを確認後、仮固定していた各場所のタイラップを本締めしてください。
- (25) 取り外した各パーツを戻し、P11 を参考にして光軸調整を行なってください。

※ パーツを戻す際は、ハーネス類が下側にたんでいない事をご確認ください。

又、ハーネス類がフロントフォーク等に絡まない事をご確認ください。

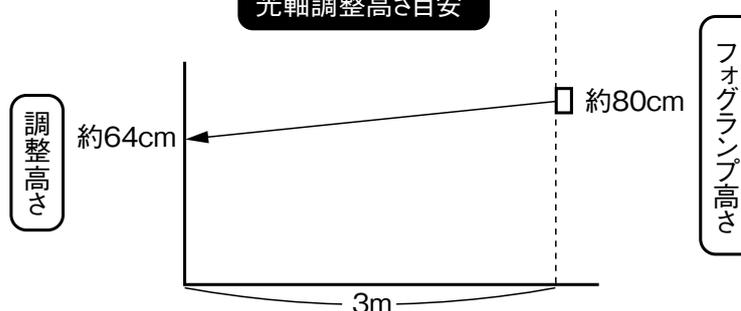
光軸調整方法

- 平らで傾斜のない場所を選び、3m 前方の壁に向かってランプを点灯させ、光の一番明るい所（主光軸）を、地面からランプ中心までの高さの 5 分の 4 の高さに合わせてください。



YAMAHA BOLTの場合はランプの高さが約80cmですので、主光軸の高さは約64cmを目安に位置を調整してください。

光軸調整高さ目安



(26) 調整後、各ボルト及び、各ナットを確実に締め付けて固定してください。

△注意

- 各ボルトを締め付ける際は、過度の締め付けすぎにご注意ください。

車検対応について

- 本製品（LED ランプ）は、E マーク（NO19 F3）の適合品です。

[3] こんな時には……

下記に従って、各部を点検してください。

1 取り付け後、点灯しない時

→ つなぎ忘れや接続が不確実な所がないか配線を確認してください。

●スイッチのイルミネーションが点灯しない場合

→ スイッチのコネクターの接続を確認してください。接続が誤っているとスイッチは作動しません。

→ スイッチのコネクターを接続した配線の車体側ヒューズを確認してください。
切れている場合は、ヒューズを交換してください。

→ リレーハーネスのヒューズを点検してください。

切れている場合は、「**[3] ヒューズが切れた時**」に従って原因を取り除いてください。

→ スイッチ本体が故障の場合でも同様の症状が現われます。この場合はスイッチユニットの交換が必要です。

●スイッチのイルミネーションが点灯し、操作してもリレー本体の作動音（カチッ）がしない場合

→ スイッチ本体が故障の場合、同様の症状が現われます。

この場合はスイッチユニットの交換が必要です。

●スイッチのイルミネーションが点灯し、操作してもリレー本体の作動音（カチッ）がする場合

→ ランプを点検してください。切れている場合は交換してください。

2 突然点灯しなくなったら…

→ ランプを左右入れ替えてください。症状が入れ替わらない場合、リレーハーネスに不具合がありますので点検してください。症状が入れ替わって点灯しない場合はランプをリレーハーネスから取り外してランプハーネスの⊕⊖を12V電源に直接繋げて点灯確認をしてください。点灯しない場合はランプを交換してください。

→ リレーハーネスのヒューズを点検してください。切れている場合は、「**[3] ヒューズが切れた時**」に従って原因を取り除いてください。

→ 車体側のヒューズを確認してください。切れている場合は、原因を取り除いてください。

→ 各部の端子の接続が不確実になっている場合があります。

端子が浮いていないか、汚れが付着していないか等を点検してください。

→ 水入りや、不確実な接続による不安定な電流によりリレーが破損している場合があります。
リレーを交換し、リレー取り付け位置及び配線各部を点検してください。

→ スイッチを点検してください。ボタン作動に異常が見られる場合は交換してください。

3 ヒューズが切れた時

→ ショートが発生している可能性があります。ランプハーネス、リレーハーネスの配線を点検し、損傷部を交換してください。交換しないままの使用は大変危険です。ショート発生の原因の多くは配線の噛込み、ランプハーネスのスリーブのずれです。

4 つきっぱなしになってしまったら

→ 水入りや、不確実な接続により、リレーが損傷しています。

リレーを交換し、リレー取り付け位置及び配線各部を点検してください。

→ スイッチのボタン作動を確認してください。異常が見られる場合は、スイッチを交換してください。

PIAA株式会社
お客様相談窓口<http://www.piaa.co.jp>**0570-050-555**受付時間 10:00~12:00 / 13:00~17:00
(土・日・祝日を除く)